

【参考資料】

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者の状況について（令和3年）

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者（令和3年第1週～53週）の報告状況は次のとおりです。

（1）年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
平成30年	95	28	123
平成31年	87	20	107
令和2年	75	19	94
令和3年	64	13	77
合 計	2469	636	3105

（2）感染経路別 HIV感染者・エイズ患者報告数

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	8	1	9(11.7%)
同性間性的接触	46	6	52(67.5%)
静注薬物使用	0	0	0(0.0%)
母子感染	0	0	0(0.0%)
凝固因子製剤(注)	0	0	0(0.0%)
その他	6	2	8(10.4%)
不明	4	4	8(10.4%)
合 計	64	13	77

（3）年齢区分

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	1	0	1
20歳代	27	4	31
30歳代	22	0	22
40歳代	9	4	13
50歳代	4	3	7
60歳以上	1	2	3
合 計	64	13	77

（4）国籍・性別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
男性（日本人）	51	10	61
（その他）	8	2	10
（不 明）	2	0	2
女性（日本人）	2	0	2
（その他）	1	1	2
（不 明）	0	0	0
小計： 男性	61	12	73(94.8%)
女性	3	1	4(5.2%)
合 計	64	13	77

（5）感染地域別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国 内	51	9	60
海 外	2	2	4
不 明	11	2	13
合 計	64	13	77

注）後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後（平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合）血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

大阪市におけるHIV感染の状況について(累計)

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者(累計;平成元年2月17日～令和3年12月31日)の報告状況は次のとおりです。

(1)年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
平成30年	95	28	123
平成31年	87	20	107
令和2年	75	19	94
令和3年	64	13	77
合 計	2469	636	3105

(2)感染経路別(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	293	120	413
同性間性的接触	1962	395	2357
静注薬物使用	6	1	7
母子感染	2	1	3
凝固因子製剤(注)	0	0	0
その他	53	24	77
不明	153	95	248
合 計	2469	636	3105

(3)年齢区分(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	30	2	32
20歳代	887	80	967
30歳代	938	181	1119
40歳代	429	189	618
50歳代	114	124	238
60歳以上	71	60	131
合 計	2469	636	3105

(4)国籍・性別(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
日本人 男性	2234	588	2822
女性	41	7	48
その他・不明 男性	156	27	183
女性	38	14	52
合 計	2469	636	3105

(5)感染地域別(累計)

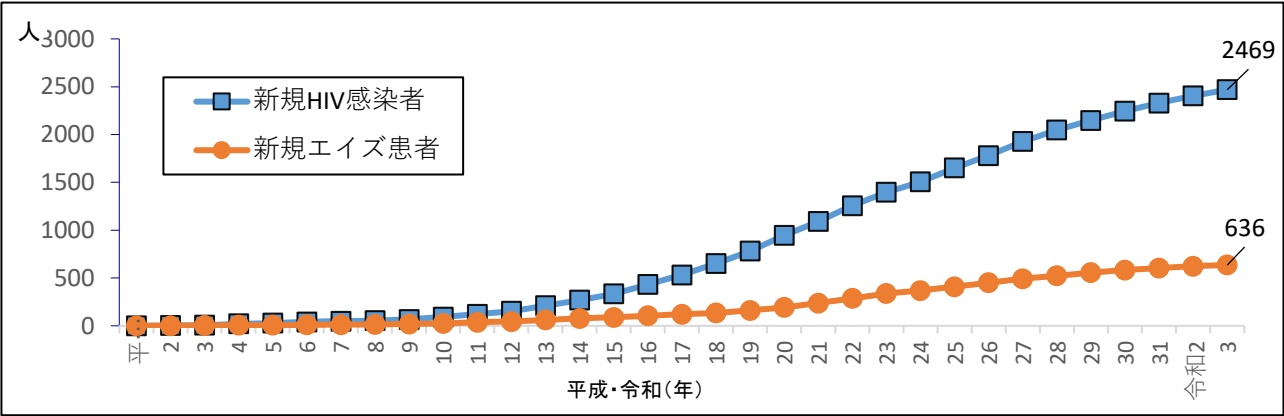
区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国 内	2202	515	2717
海 外	102	36	138
不 明	165	85	250
合 計	2469	636	3105

注)後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後(平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合)血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

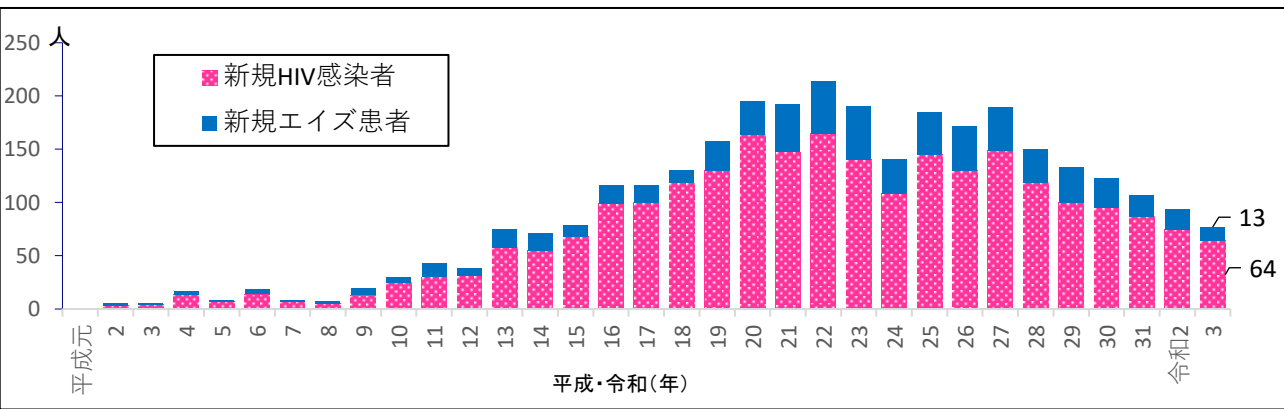
大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者の状況について（令和3年）

＜累計＞平成元年～令和3年累計 ＜令和3年＞令和3年第1週～53週報告

①HIV感染者・エイズ患者の年次推移＜累計＞

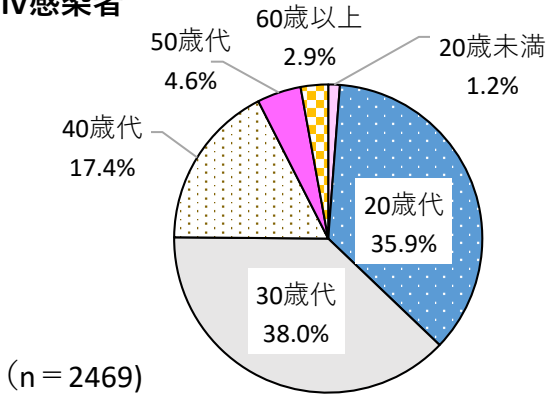


②HIV感染者・エイズ患者年次別届出数推移

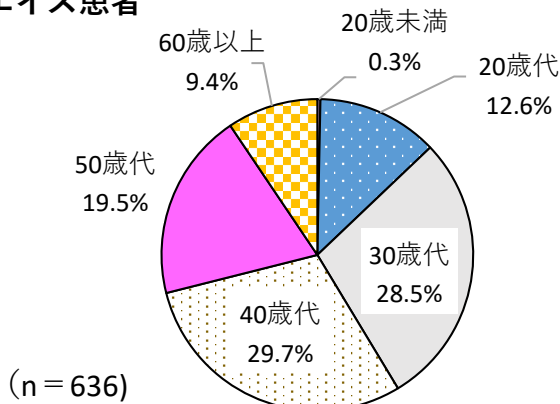


③年齢区分 ＜累計＞

HIV感染者

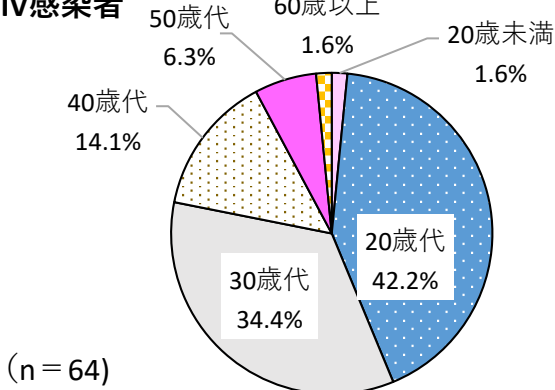


エイズ患者

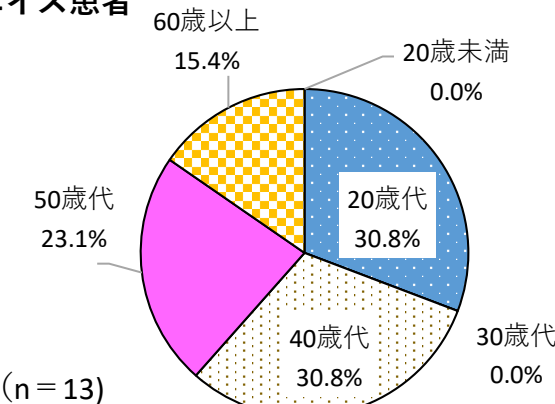


④年齢区分 ＜令和3年＞

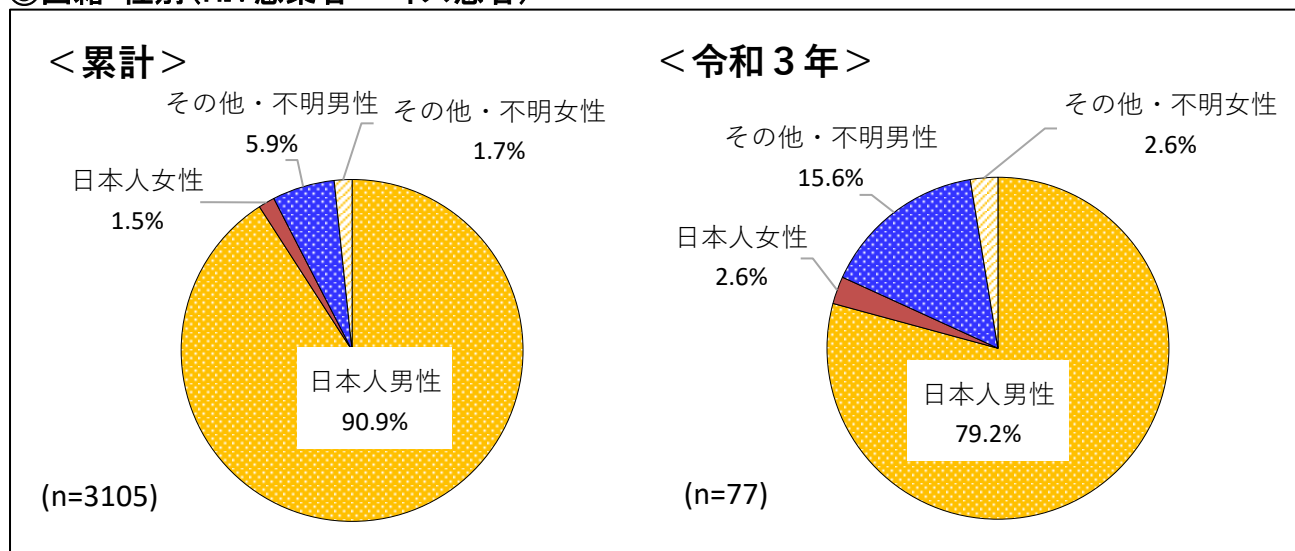
HIV感染者



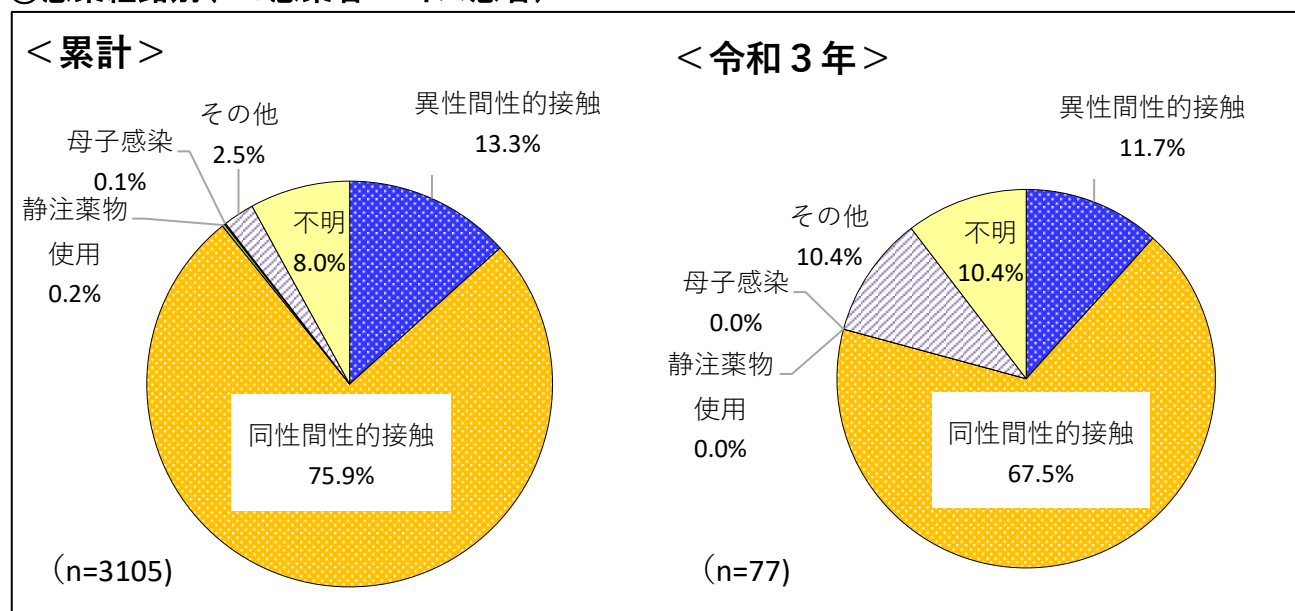
エイズ患者



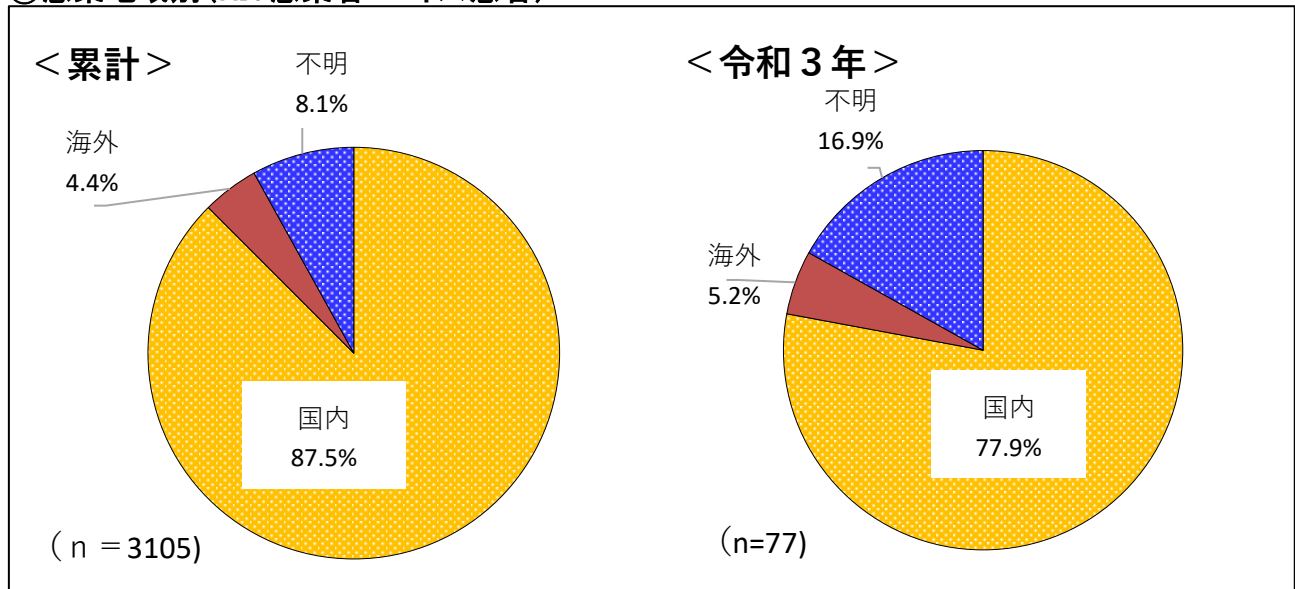
⑤国籍・性別(HIV感染者・エイズ患者)



⑥感染経路別(HIV感染者・エイズ患者)

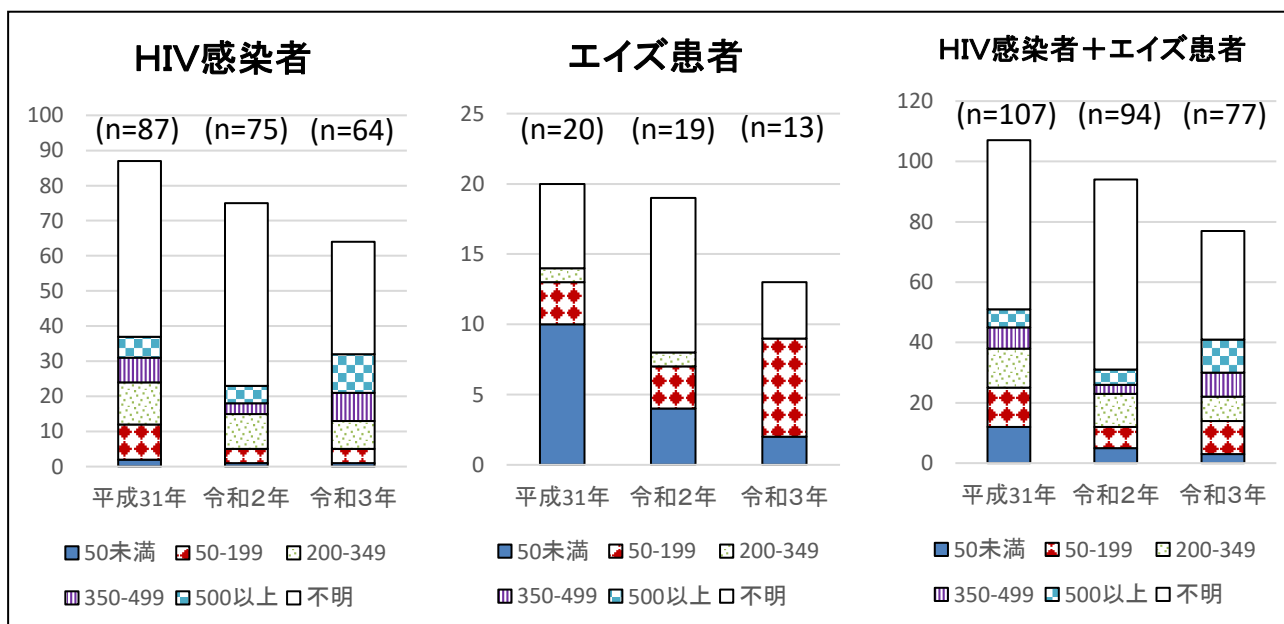


⑦感染地域別(HIV感染者・エイズ患者)

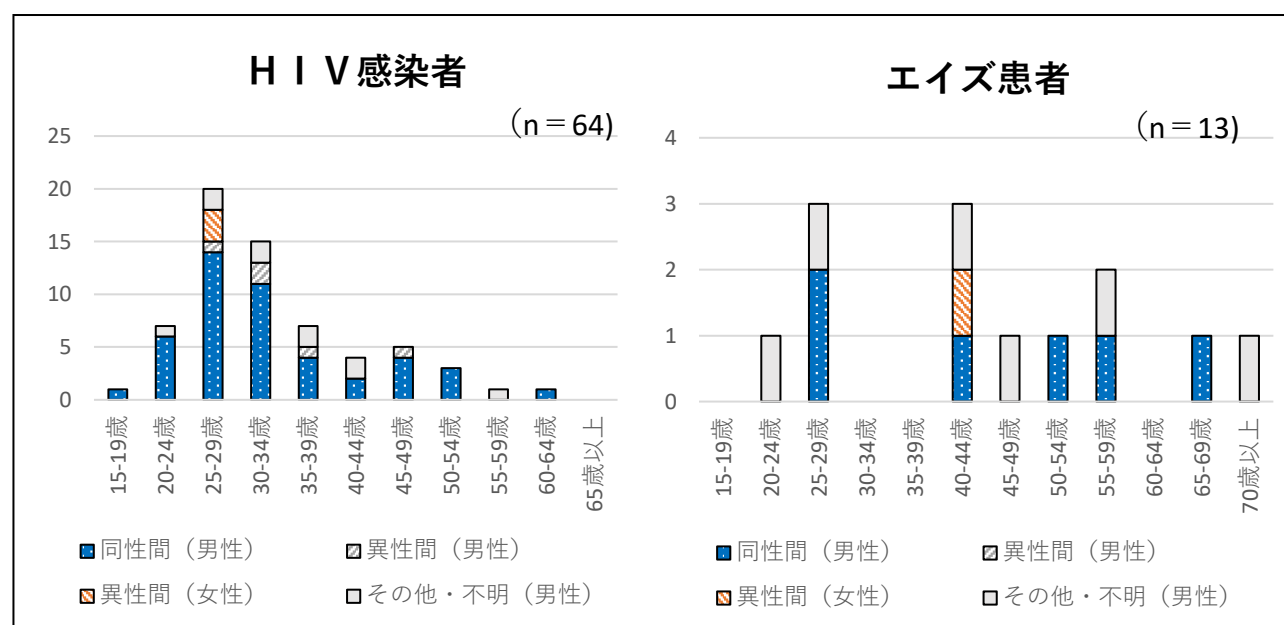


⑧新規報告数における診断時CD4値の分布＜平成31年～令和3年＞

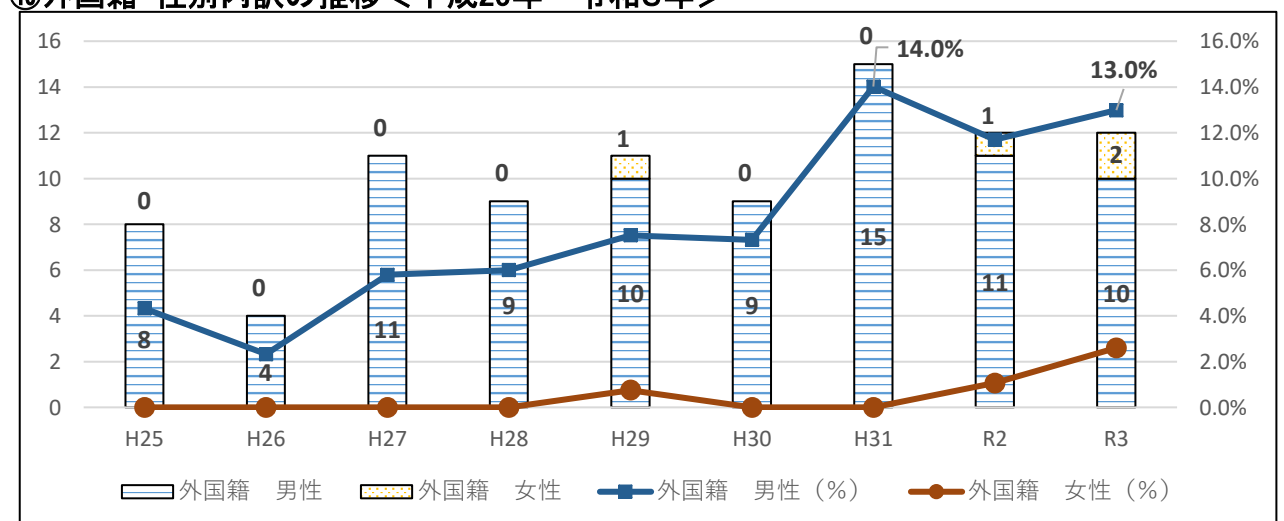
※平成31年1月1日から発生届の項目に診断時のCD4値が追加された



⑨年齢階級別感染経路別内訳＜令和3年＞



⑩外国籍・性別内訳の推移＜平成25年～令和3年＞



《令和3年 HIV感染者・AIDS患者の年間新規報告数（速報値）》

【概要】

1. 今回の報告期間は、令和3年の約1年間
（令和2年12月28日～令和3年12月26日までの四半期ごとの合計）
2. 新規HIV感染者報告数は、717件（過去20年間で、18番目の報告数）
3. 新規AIDS患者報告数は、306件（過去20年間で、20番目の報告数）
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は1,023件（過去20年間で、18番目の報告数）

【感染経路・年齢等の動向（速報値）】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが513件（全HIV感染者報告数の約72%）
 - 異性間性的接触によるものが87件（全HIV感染者報告数の約12%）
 - 静注薬物によるものは0件
 - 母子感染によるものは1件
 - 年齢別では、特に20～40歳代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが151件（全AIDS患者報告数の約49%）
 - 異性間性的接触によるものが53件（全AIDS患者報告数の約17%）
 - 静注薬物によるものは1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、特に30～50歳代が多い。
 - AIDS患者数が累計で1万人を超えた。

【検査・相談件数の概況（令和3年1月～12月）】

1. 保健所等におけるHIV抗体検査件数（確定値）は58,172件（過去20年間で、20番目の件数）
2. 保健所等における相談件数（確定値）は54,551件（過去20年間で、20番目の件数）

《まとめ》

1. 速報値ではあるが、令和3年の新規HIV感染者報告数は昨年と比べて減少（R2 750件→R3 717件）し、新規AIDS患者報告数も減少（R2 345件→R3 306件）した。ただし、2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症に伴う検査機会の減少等の影響で検査件数等が減少しており、無症状感染者が十分に把握できていない可能性に留意する必要がある。
2. 新規HIV感染者及び新規AIDS患者報告の感染経路は、性的接触によるものが7割以上で、男性同性間性的接触によるものが多い。
3. 保健所等の検査数は過去20年間で20番目の件数であるが、直近の第3、4四半期合計件数は、第1、2四半期合計件数より増加しており、今後も保健所等での検査数を注意深く見守る必要がある。
4. 献血における10万件当たりの陽性件数は昨年と比べて減少した。その原因は現時点で定かではなく、引き続き、注視する必要がある。併せて、感染の可能性のある方への医療機関への受診勧奨や、保健所等での無料・匿名検査の利用を呼びかけるなどの取組を行う必要がある。
5. HIV感染症は予防が可能な感染症である。HIVに感染していない者においては、適切な予防策をとること、HIVに感染した者においては、まずは自分の感染を知ることが、個人においては早期治療に、社会においては感染の拡大防止に結びつくため、重要となる。国民の皆様には、梅毒などの性感染症を含め、保健所等での無料・匿名の相談や検査の機会を積極的に利用いただきたい。

新規H I V感染者・エイズ患者報告数、検査・相談件数推移

新規HIV感染者・エイズ患者報告数

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合 計
39	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	306	10,297
78	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011	976	940	903	750	717	23,206
117	101	97	238	493	363	434	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,544	1,529	1,449	1,590	1,546	1,434	1,448	1,389	1,317	1,236	1,095	1,023	33,503

<上段:エイズ患者報告数 中段:HIV感染者報告数 下段:エイズ患者・HIV感染者の合計>

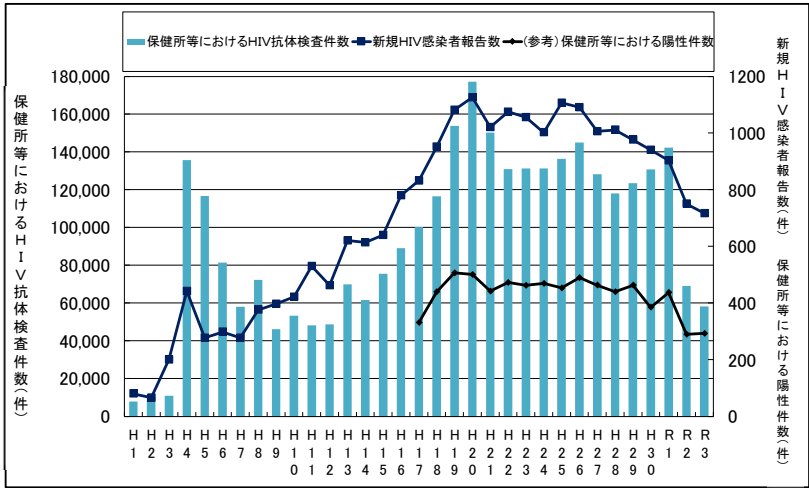
保健所等におけるHIV抗体検査件数

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合 計	
47,470	7,864	10,649	10,980	135,674	116,712	81,495	57,978	72,186	46,237	53,218	48,218	48,754	69,925	61,652	75,539	89,004	100,287	116,550	153,816	177,156	150,252	130,930	131,243	131,235	136,400	145,048	128,241	118,005	123,432	130,759	142,260	68,998	58,172	3,176,339	
														(参考)保健所等における陽性件数				331	440	507	501	442	473	462	469	453	490	463	440	463	385	437	290	293	—

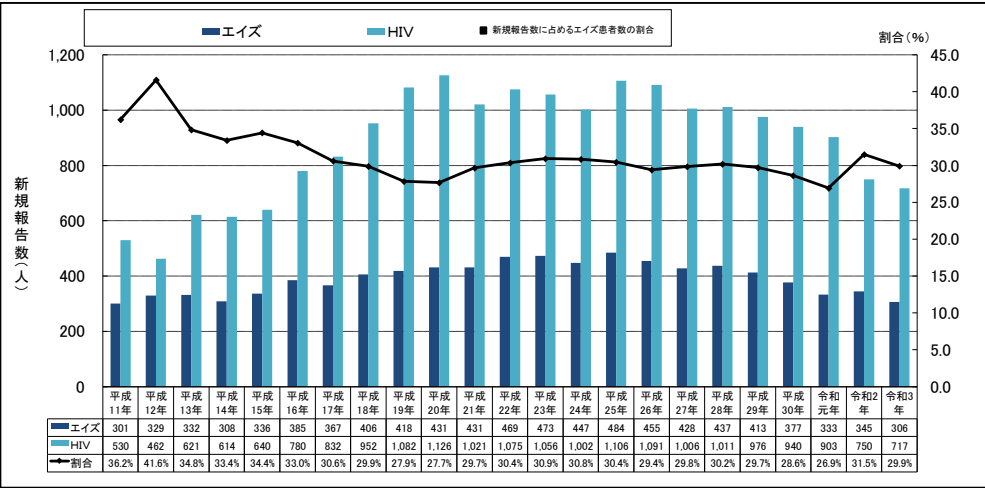
保健所等における相談件数

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合 計
132,004	14,603	17,458	18,002	251,926	245,299	175,837	124,735	172,641	96,735	111,046	103,206	107,266	141,269	108,911	130,153	146,585	161,474	173,651	214,347	230,091	193,271	164,264	163,006	153,583	145,401	150,993	135,282	119,378	123,768	127,830	129,695	66,519	54,551	4,604,780

新規HIV感染者報告数、保健所等におけるHIV抗体検査件数

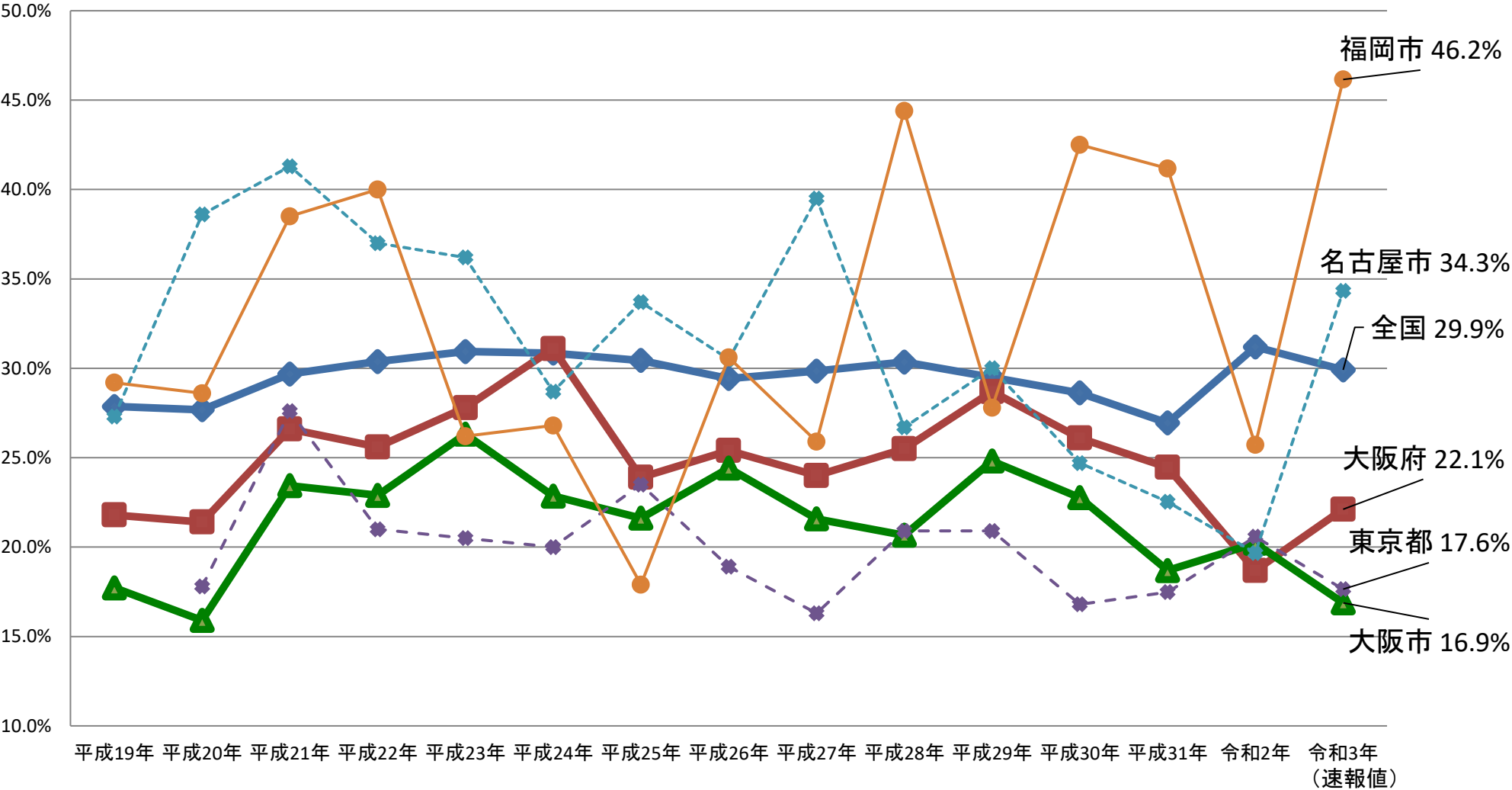


新規HIV感染者・エイズ患者報告数に占めるエイズ患者数の割合



新規報告数(HIV感染者＋エイズ患者)に占めるエイズ患者の割合

参考資料 -8-



令和3年 後天性免疫不全症候群 発生届出医療機関別割合(大阪市・大阪府)

大阪府

	届出医療機関種別	HIV・エイズ 届出医療機関割合
HIV	保健所/保健センター	17 件 (16.3 %)
	委託検査場	23 件 (22.1 %)
	診療所	11 件 (10.6 %)
	病院(拠点病院以外)	14 件 (13.5 %)
	エイズ拠点病院	16 件 (15.4 %)
エイズ	診療所	0 件 (0.0 %)
	病院(拠点病院以外)	10 件 (9.6 %)
	エイズ拠点病院	13 件 (12.5 %)
	合計	104 件 (100.0 %)

HIV届出数(エイズを除く)
81件のうち、保健所・保健
福祉センター及び委託検
査場の占める割合は
49.4%(40件)

※診断年月日を基準に集計。

(大阪市含む)

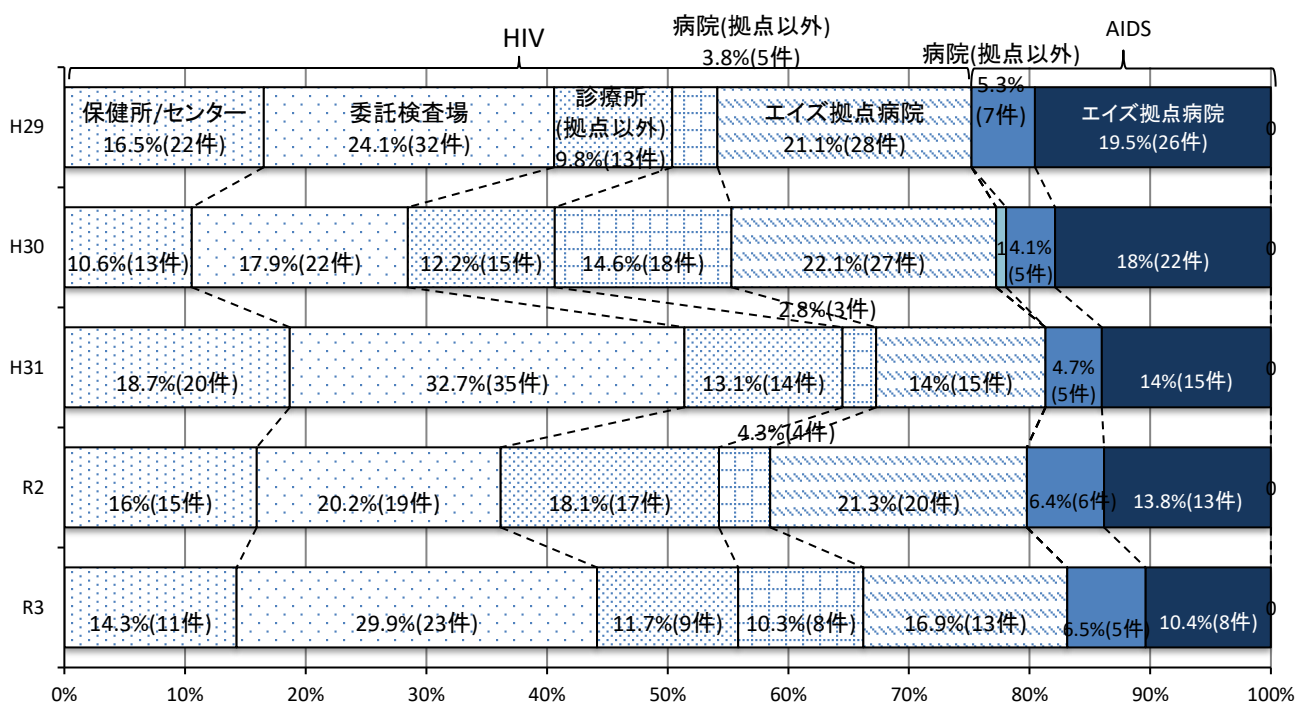
大阪市

	届出医療機関種別	HIV・エイズ 届出医療機関割合
HIV	保健所/保健センター	11 件 (14.3 %)
	委託検査場	23 件 (29.9 %)
	診療所	9 件 (11.7 %)
	病院(拠点病院以外)	8 件 (10.3 %)
	エイズ拠点病院	13 件 (16.9 %)
エイズ	診療所	0 件 (0.0 %)
	病院(拠点病院以外)	5 件 (6.5 %)
	エイズ拠点病院	8 件 (10.4 %)
	合計	77 件 (100.0 %)

HIV届出数(エイズを除く)
64件のうち、保健所・保健
福祉センター及び委託検
査場の占める割合は
53.1%(34件)

※診断年月日を基準に集計。

大阪市届出医療機関割合 年次推移(平成29年～令和3年)



後天性免疫不全症候群 発生届出件数・医療機関種別(大阪市・大阪府)

(平成29年～令和3年累計)

※大阪府:大阪市は除く

大阪市届出医療機関	HIV届出件数	エイズ届出件数
保健所/保健センター	81	0
委託検査場	131	0
診療所(拠点病院以外)	68	1
病院(拠点病院以外)	38	28
エイズ拠点病院	103	84
合計	421	113

大阪府届出医療機関種別	HIV届出件数	エイズ届出件数
保健所/保健センター	114	0
委託検査場	131	0
診療所(拠点病院以外)	74	1
病院(拠点病院以外)	66	66
エイズ拠点病院	127	107
合計	512	174

